

表2 飯野町各小・中学校の学社連携事業実施状況

学校	連携状況	主な活動内容
飯野小学校	① 家庭との連携に力点を置き、親子共同で活動。 ② 多様な遊びを楽しみ、器用さを身につけるため、地域に伝わるおもちゃを作り、遊ぶ。地域の人材を指導者として活用。 ③ 町教委主催の故郷の自然や文化理解、健康づくりのための行事へ参加。	・イモ、トウモロコシ、大豆等栽培・収穫祭 ・竹細工 ・昔の遊び ・町教委・公民館主催「町民健康ウォーク」への参加
青木小学校	① 家庭との連携に力点を置き、親子共同で実施する活動を実施。 ② 地域に伝わる農作業と収穫の喜びを体験。地域の人材登録者の指導。	・親子芋煮会 ・親子ダンス ・青木農園（地区民と共同経営） ・おみこし作り ・校内おまつり
大久保小学校	① ふるさととの文化の理解と地域の交流により郷土愛を育てる独自の活動を展開。「若連」、町内人材、交通安全母の会等の協力と指導を受ける。 ② 婦人学級（公民館）が編集した「昔の遊び」を教材として活用、学級生や町内人材の指導も受ける。 ③ ふるさと文化の伝承から郷土を理解し地域の人々との交流を通して郷土愛を育てるため、町教委や町公民館実施行事に参加。	・おみこし作り ・「若連」の担ぎ ・作みこし歩き ・内を練り歩きの神社に奉納。 ・昔のおもちゃづくり ・昔の遊びして楽しむ ・ふるさと文化触れ合い教室 ・子どもフェスティバル ・地区子ども会
明治小学校	① 昔の郷土の生活を体験的に理解するために、昔の生活用品を作る。人材登録者名簿の素材を活用。 ② ふるさと文化や自然に触れ郷土を理解し、地域の人々の生活を知り、郷土愛を育てる遊びの工夫。	・藁細工 ・竹細工（校内の清掃活動に使用中） ・「明治カルタ」作り ・「明治カルタ」遊び ・地区内ウォークラリー
飯野中学校	① 全校生を縦割りの15名程度のグループに分け、それぞれ自主的に計画し実施。必要に応じて町内の人材の活用もある。民間企業との連携もある。 ② 町教委主催の健康づくりの行事へ学校あげて参加。	・ゲートボール、清掃奉仕、危険箇所作り、郷土文化理解（太鼓、うち、民話、遺跡、藁細工等） ・親の職場訪問（三山ハイツ、川口電機等） ・町民スポーツ大会参加（駅伝大会等々）

子どもたちが、ふるさとの文化や自然に触れるとともに地域の人々との交流を通して郷土愛を育てるために地域ぐるみで取り組んでいる。

(一) 子どもたちの社会参加

(二) 「ふるさと文化ふれあい教室」

世代間の交流事業として県の補助を受けて、特に高齢者とのふれあいを重視して子どもたちが郷土の自然や文化を直接体験を通じて理解することを目的として年間を通じて実施している。

(イ)、「町民スポーツ大会、健康ウォーク」

町民全員参加を合い言葉にスポーツ大会を実施し、また、健康ウォークは、保健課との連携事業として町内各地区にウォークコースを設定し、健康づく

りを兼ねた文化財や名所旧跡巡りを実施した。

(ウ)、子ども会・スポーツ少年団活動への参加

学校外での子どもの健全な遊びを育てるために地区単位で子ども会等を組織し、年間を通して活動できるように育成組織の充実にも努めている。

また、住民総ぐるみで子どもたちの健全な生活態度の育成と豊かな情操を養うために「子どもフェスティバル」を実施した。

(二)、青少年健全育成事業への参加

町ぐるみのあいさつ運動や、よい子カレンダーによる生活指導、そして家庭の日や毎月二十日の健全育成の日、町内一周の広報活動をおこなう等、青

少年の健全育成の啓発活動を積極的に展開している。

(二) 学社連携の状況

(ア)、家庭や地域との連携を強化し、家庭の教育力の回復を図るため、各校とも創意工夫して親子共同体験を展開している。また、郷土愛を育てるためにふるさとの自然、文化財、産業等に直接触れる活動や、地域の人々と触れ合う活動を重視し、町内の人材あるいは民間企業の人材を指導者として活用している。

(イ)、学社連携の強化を図るため、学校、町教育委員会、公民館、各種団体等の行事の調整を行うとともに運営面での連携協力を得るよう努めている。

(ウ)、町内各小学校の学社連携の具体的

(三) 学社連携の成果

○ 子どもたちは、地域の活動に生き生きと参加するようになった。また、子どもたちの校外での活動に対して地域の人々の理解と協力が増した。

○ 地域の指導者を学校教育の場で活用し、ふるさとの理解や郷土愛の伸長に貢献した。

○ 学校、家庭、地域、企業、各種団体等、町民ぐるみで学習が展開されるようになった。

（町の人材活用によるカルタ遊びの明治小三年生作文）

明治かるたをやって、今までわからなかった明治のれきしがわかってきました。たとえば、明治地区を汽車がはしっていたなんてとても信じられませんでした。

また、きつねの出でくる伝説などがとてもおもしろかったです。このような伝説は、家のおばあさんから、あまり聞くこともなかったからです。

明治かるたで知ったこと、大事な心のたからものになりました。

おわりに

教育は、すべて愛である。町づくりも町民一人一人の家庭愛、そして郷土愛に基づく学習意欲に支えられた生涯学習によってこそ可能になるものと考えられる。そのためには、今後ますます生涯教育体制の整備が不可欠であり、その基盤整備を推進し学習社会の形成に向けてまい進していきたい。